

# 2014年度 通常総会議事資料

<2014/6/8>

## <議 事>

- |        |  |
|--------|--|
| 1 日 時  | 2014年6月8日（日） 15:00～17:00   |
| 2 会 場  | つくば市民大学キャンパス（茨城県つくば市東新井15-2-5階）                                    |
| 3 付議事項 | 第一号議案 2013年度事業報告および収支決算の承認を求める件<br>第二号議案 2014年度事業計画および収支予算の決定を求める件 |

ユニベルシタスつくば

## <第1号議案> 2013年度事業報告および収支決算の承認を求める件

### 2013年度事業報告書

2013年4月1日から2014年3月31日まで

ユニベルシタスつくば

つくば市民大学開校5周年となった2013年度は、「振り返り」と「反映」という2つの意味を持つ「リフレクション」をキーワードに掲げて各種事業を遂行しました。

1つめのポイントである「振り返り」においては、この5年間で「どのような事業を行なってきたか?」「それによってどのような成果が得られたか?」を振り返り、記録としてまとめて広く発信するための「記念誌編集委員会」を発足し、計7回の検討会を開催しました。残念ながら年度内での発行には至りませんでした。2014年度第1四半期には「つくば市民大学レビュー」を発行できる予定です。また、「つくば市民大学はそもそも何のために生まれたのか?」「どのような状態の実現をめざしているのか?」といったミッションやビジョンをあらためて振り返り、その内容を踏まえて、パンフレットおよび要項「つくば市民大学へのおさそい」の改訂を行いました。あわせて、「参加・体験型の講座づくり虎の巻」(仮称)の制作・発行も計画していましたが、年度内の発行には至らず、完成は2014年度にずれこみました。

2つめのポイントである「反映」においては、「世代や立場、組織の枠をこえて学び、交流するなかから、地域や社会の課題を解決するために私たち自身ができることを探っていく場」というミッション、および「まなぶ・つながる・つくりだす」というコンセプトの元となった、つくば市民大学構想段階でのミッション原案を再度確認し、それを意識した企画・運営に努めました。

#### 【つくば市民大学構想段階でのミッション原案(2008年)】

- ・ Learning —学習—: 自主的で創造的な「学び方=働き方=生き方」の実験の場として、市民・勤労者等のための実践的な学びの場をめざす。
- ・ Emergence —創発—: 地域や世代、組織等の枠を超えて交流・触発しあえる「縁側」機能を提供し、多様な人と組織の「つなぎ役」をめざす。
- ・ Innovation —革新—: 多様な市民・組織の参加により、地域や社会の課題解決に必要な研究・討議をおこない、その成果を地域・社会に発信する。

その主な成果を、以下に記します。

#### 多様な団体と「つながり」、実践的な学びの場を「つくりだす」

共催講座では、筑波研究学園都市研究機関労働組合協議会、NPO 法人宋塚の自然と歴史の会、つくばバリアフリー学習会、有限会社友遊舎、NPO 法人茨城 NPO センター・コモンズ、NPO 法人リヴォルヴ学校教育研究所、NPO 法人スマイル・ステーション、NPO 法人よかつぱいばらきなど、様々な団体との共催で、これまで以上に実践的な講座を多数開催することができました。

また、主催講座においても、里山建築研究所、代々木公園・伴走伴歩クラブなど、外部団体の協力を積極的に得ることで、単独ではなし得ない企画を実現することができました。

### **参加者同士が「つながり」、新たな講座の企画を「つくりだす」**

たとえば、「対話ファシリテーター育成講座」からは、講座参加者による共催講座が2つ、自主講座が4つ誕生しました。さらに、参加者を対象とした「ファシリテーション・フォーラム実行委員会」を発足し、参加者同士がチームとしてつながり、一つの事業をつくりだす試みも開始しました。

また、「スロー・シネマ・カフェ」からは、2つの主催講座が生まれるとともに、参加者が有志のグループを構成し、共催講座を提案・実施するに至っています。

このように、「受け手」から「担い手」への流れをつくることを積極的に意識し、一定の成果を収めるに至っています。

### **地域の人々が「つながり」、〈社会関係資本〉を「つくりだす」**

①キャンパスという「場」があることは確かに大きな強みではあるが、現状の「講座」を中心とした活動にとどまるのではなく、活動を外へと開いていくことが必要であると思われること、②「課題を解決するための取り組み」はもちろん重要だが、それ以上に重要なのは、「課題が生じないようにするインフラ、課題が生じた際に自律分散的に解決できるインフラをつくること」であると思われること、という2つの仮説から、「つくばの地域資源である豊富な公園を活用して」「血縁・地縁・社縁とは異なる新しいつながり＝社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）を育む」試みとして、「つくば公園でお弁当」という取り組みを開始しました。

以下、事業の詳細について報告します。

A. 市民大学事業：講座・イベント等

【主催講座】

講座名および実施状況	従事者	受益者
<p>【サステナビリティ学科】</p> <p>■歩いてみよう、見てみよう、作ってみよう！ちょっと昔の住まいとくらし 2学期：全1回開催（11/4）</p>	2	16
<p>■『今、ここ』をじっくり味わう ～緑の朝食会in洞峰公園～ 2学期：全1回開催（9/28）</p>	2	8
<p>■Be the change！ ～ガンジーに学ぶリーダーシップの旅～ 3学期：全3回開催（1/28、2/18、3/11）</p>	6	41
<p>【ダイバーシティ学科】</p> <p>■市民の眼で見た海外の国ぐに 1学期：全2回開催（4/20、6/29） 2学期：全1回開催（10/19） 3学期：全2回開催（12/21、2/23）</p>	4 2 4	13 24 50
<p>■「あたりまえ」を疑えば世界はこんなにも豊かだ！ 1学期：全1回開催（6/15） 3学期：全1回開催（3/16）</p>	2 2	10 10
<p>■二人で走れば、二倍楽しい！はじめよう！伴走！ （3学期は二人で走れば、なにかが見える？一緒に走ろう！伴走練習会） 1学期：全2回開催（6/8、7/20） 2学期：全2回開催（9/21、10/19） 3学期：全4回のうち2回開催（2/23、3/23）※2回は大雪のため中止</p>	4 4 4	33 34 14
<p>【コミュニティ学科】</p> <p>■いっしょに話しあいの知恵を探ろう！対話ファシリテーター育成講座 1学期：全6回開催（4/21、5/12・26、6/16、7/7・28） 2学期：全5回開催（8/18、9/8・29、10/20、11/10） 3学期：全5回開催（12/1・15、1/19、3/9・23）</p>	12 10 10	61 70 37
<p>■ファシリテーション・フォーラム実行委員会 3学期：全2回開催（3/9・23）</p>	4	11
<p>■フューチャーセッション「地域×アート＝？」実践編 2学期：全3回開催（9/5、10/3・22）</p>	6	23
<p>■描こう、つくば市民大学の未来とわたし 1学期：全1回開催（6/9）</p>	2	16
<p>【ライフスタイル学科】</p> <p>■楽しいおしゃべりで、ときめく明日を！～サロン de BOYAKI～ 1学期：全16回開催（4/4～7/25） 2学期：全17回開催（8/1～11/28） 3学期：全15回開催（12/5～3/27）</p>	32 34 30	58 84 74

<b>■ブックトーク・カフェ</b> 1 学期：全 4 回開催（4/7、5/5、6/2、7/7） 2 学期：全 4 回開催（8/4、9/1、10/5、11/3） 3 学期：全 4 回開催（12/1、1/12、2/2、3/2） <b>■フォーカシング勉強会</b> 2 学期：全 2 回開催（10/5、11/2） 3 学期：全 1 回開催（12/7） <b>【その他】</b> <b>■つくば公園でお弁当</b> 2 学期：全 10 回開催（10/6～11/24） 3 学期：全 6 回開催（12/1～3/30） <b>■つくば市民大学 5 周年記念学園祭</b> 3 学期：全 1 回開催（3/29）	8 8 8  4 2  10 6  7	16 23 28  6 5  64 39  54
受益者のべ人数		922

#### 【公開講座】

講座名および実施状況	従事者	受益者
<b>【サステナビリティ学科】</b> <b>■スロー・シネマ・カフェ（2 学期は「スロー・シネマ・カフェ」延長戦！）</b> 1 学期：全 1 回開催（7/25） 2 学期：全 1 回開催（8/11） <b>【ダイバーシティ学科】</b> <b>■多様性に出会える図書館～読書のユニバーサルデザインを目指して～</b> 3 学期：全 1 回開催（12/8） <b>【コミュニティ学科】</b> <b>■フューチャーセッション「地域×アート＝？」</b> 1 学期：全 1 回開催（5/9） <b>■フューチャーセッション「『わたしたちの公園』をつくる！」</b> 3 学期：全 2 回開催（3/8・15） <b>【ライフスタイル学科】</b> <b>■おやつは 300 円!？～ロッキーといっしょにお買い物ゲーム～</b> 2 学期：全 1 回開催（8/10） <b>■身近な事例で学ぶこれからの「相続」</b> 2 学期：全 1 回開催（11/9）	2 2  2  2 4  2 2	35 5  24  10 18  40 19
受益者のべ人数		151

**【共催講座】**

講座名および実施状況	従事者	受益者
<b>【サステナビリティ学科】</b>		
■つくろう！科学の輪		
2学期：全1回開催（8/24）	2	9
3学期：全1回開催（3/2）	2	24
■里山入門		
1学期：全6回開催（5/28、6/4・18、7/2・16・23）	12	26
2学期：全3回のうち2回開催（10/12、11/2）※1回は台風のため中止	4	17
3学期：全2回開催（2/11、3/1）	4	18
■今ここにある暮らしからつなげる未来		
3学期：全1回開催（3/18）	2	10
■博士が教える よかっぺ科学者養成塾		
3学期：全4回のうち0回開催 ※主催者都合により中止	0	0
<b>【ダイバーシティ学科】</b>		
■いっしょに楽習会		
1学期：全3回開催（5/19、6/23、7/7）	6	18
2学期：全2回開催（11/3・24）	4	23
3学期：全3回のうち2回開催（12/15・23）※1回は大雪のため中止	4	7
■聴く力・話す力を高めるワークショップ ～つくろう、育てよう、自己肯定感～		
2学期：全1回開催（10/1）	2	12
■ドキュメンタリー映画「DXな日々～美んちゃんの場合」つくば上映会		
2学期：全1回開催（11/24）	2	43
<b>【コミュニティ学科】</b>		
■みる・きく・かんじる～対人支援のための観察力トレーニング講座～		
1学期：全1回開催（6/30）	2	8
■つくば市民活動交流会～組織の困りごとを、みんなで話しあおう～		
2学期：全1回開催（9/11）	2	10
■実践！市民団体のファンドレイジング講座		
2学期：全4回開催（9/11・25、10/9・23）	8	22
■いじめ防止プログラムワークショップ		
2学期：全1回開催（10/26）	2	31
■楽楽大学・TSUKUBAを語ろう～「でえ～がい！」TSUKUBAの農業～		
2学期：全1回開催（11/17）	2	27
<b>【ライフスタイル学科】</b>		
■時代を生き抜くローカルエコビジネスを考えよう～夢なき者に成功なし～		
1学期：全1回開催（4/18）	2	3
■共感と発見のための「子育てどう（Do）？」トークカフェ		
1学期：全1回開催（6/22）	2	37
	受益者のべ人数	345

【自主講座】

講座名および実施状況	従事者	受益者
【コミュニティ学科】		
■コミュニティサポーター養成講座		
1 学期：全 1 回開催 (4/14)	1	8
3 学期：全 1 回のうち 0 回開催 ※主催者都合により中止	0	0
■I-Branding Project / The High Performers' Woman		
3 学期：全 1 回開催 (1/25)	1	7
【ライフスタイル学科】		
■歴史トークカフェ		
1 学期：全 8 回開催 (4/13・27、5/11・25、6/8・22、7/13・27)	8	37
2 学期：全 8 回開催 (8/10・24、9/14・28、10/12・26、11/9・23)	8	43
3 学期：全 7 回開催 (12/14、1/11・25、2/8・22、3/8・22)	7	30
■映画トークカフェ		
1 学期：全 1 回開催 (7/21)	1	3
2 学期：全 3 回開催 (8/18、10/20、11/17)	3	9
■ラフター（笑い）ヨガで一緒に笑って元気！		
3 学期：全 2 回開催 (12/7、1/11)	2	21
■「いまこの瞬間に在り続ける事で、満たされる私」を体感しよう！		
3 学期：全 6 回開催 (1/18、2/1・15・22、3/1・22)	6	44
■詩の広場「ポエトリー・スクウェア」		
3 学期：全 3 回開催 (1/19、2/2、3/9)	3	16
■子どものやる気を引き出す魔法の質問		
3 学期：全 1 回開催 (1/26)	1	12
■鍼灸師と歩く「正しい歩き方講座」		
3 学期：全 1 回開催 (1/30)	1	13
受益者のべ人数		243

【会場使用】

団体名	日程	従事者	受益者
特定非営利活動法人茨城 NPO センター・コモンズ	4/16 他全 9 回	9	100
特定非営利活動法人よかっぺいばらき	5/25	1	3
キャリアデザインステージ実行委員会	6/11 他全 3 回	3	13
つくば子ども劇場	8/31	1	31
一般社団法人 Co-Create	9/15	1	31
特定非営利活動法人フードバンク茨城	9/18 他全 3 回	3	89
有限会社友遊舎	10/22 他全 2 回	2	13
筑波研究学園都市研究機関労働組合協議会	10/29	1	48
環境かるた普及委員会	3/8	1	6
受益者のべ人数			334

【参考・過年度との比較】

	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
主催講座	4 講座・ 15 回 受講者 38 名	12 講座・ 28 回 受講者 208 名	16 講座・ 74 回 受講者 446 名	19 講座・124 回 受講者 619 名	28 講座・120 回 受講者 922 名
公開講座	5 講座・ 6 回 受講者 52 名	5 講座・ 5 回 受講者 140 名	2 講座・ 2 回 受講者 90 名	4 講座・ 5 回 受講者 141 名	7 講座・ 8 回 受講者 151 名
共催講座	14 講座・ 62 回 受講者 559 名	14 講座・ 31 回 受講者 411 名	12 講座・ 22 回 受講者 267 名	16 講座・ 43 回 受講者 568 名	18 講座・ 32 回 受講者 345 名
自主講座	6 講座・ 44 回 受講者 747 名	14 講座・ 20 回 受講者 211 名	14 講座・ 29 回 受講者 325 名	14 講座・ 26 回 受講者 299 名	13 講座・ 43 回 受講者 243 名
合 計	29 講座・127 回 受講者 1,396 名	45 講座・ 84 回 受講者 970 名	44 講座・127 回 受講者 1,128 名	53 講座・198 回 受講者 1,627 名	66 講座・203 回 受講者 1,661 名
会 員 数	52 名・団体	83 名・団体 (継続 25・新規 58)	119 名・団体 (継続 49・新規 70)	170 名・団体 (継続 70・新規 100)	201 名・団体 (継続 79・新規 122)
利用者数	1,795 名	2,715 名 <small>(うち 1,025 名は支援物資提供者)</small>	1,668 名	3,085 名 <small>(うち 640 名は就労支援訓練生)</small>	2,310 名

B. 市民大学事業：企画・運営のための会務

- ・ 総会 6 月 9 日 (日) 13:00～15:00
- ・ 運営委員会 7 月 25 日 (木) 10:00～13:00  
11 月 28 日 (木) 10:00～12:00  
3 月 27 日 (木) 10:00～12:00
- ・ 幹事会 4 月 25 日 (木) 12:00～14:00  
10 月 3 日 (木) 10:00～12:00  
1 月 30 日 (木) 10:00～12:00  
3 月 27 日 (木) 13:00～17:00
- ・ 記念誌編集委員会 8 月 6 日 (火) 13:00～15:00  
9 月 17 日 (火) 19:00～21:00  
10 月 8 日 (火) 19:00～21:00  
11 月 7 日 (木) 19:00～21:00  
12 月 5 日 (木) 18:00～21:00  
1 月 14 日 (火) 13:30～16:30  
2 月 13 日 (木) 18:00～21:00
- ・ 学園祭実行委員会 1 月 30 日 (木) 13:00～15:00  
2 月 13 日 (木) 15:00～17:00  
3 月 11 日 (火) 15:00～17:00



## C. 就労支援事業

### ・「つくば発達障害就労支援協議会」の総会を開催

日 時	5月29日（日）13:30～13:40
会 場	つくば市民大学キャンパス
付議事項	第1号議案 事業報告および収支決算に関する事項 第2号議案 協議会の解散に関する事項 第3号議案 残余財産の処分に関する事項

→2012年度、ユニベルシタスつくばでは、「新しい公共の場づくりのための提案型モデル事業」の一環として、茨城県障害福祉課・つくば市障害福祉課・NPO法人鱸づな会・株式会社 Kaien とともに5団体で「つくば発達障害就労支援協議会」を構成し、「発達障害のある若年層への就労支援モデル事業」に取り組みました。

モデル事業では、当事者に向けての「訓練事業」、受入側の企業に向けての「啓発事業」、支援機関同士の「円卓会議」の3つの事業を行うことで、「既存の福祉制度の狭間にあり、意欲はあっても無業状態で滞留している発達障害（疑い含む）の若者たちに向け、特性に合った職業訓練を実施することを軸に、就労に結びつける支援体制の確立と県民へのわかりやすい情報発信により、彼らを受け入れ、その特性を活かすことのできる、温かく活気ある地域社会の構築」（同事業申請書より抜粋）に寄与することができました。

本総会は、モデル事業の終了により、事業の受け皿であった協議会を解散するために開催されたものです。

### ・「つくば発達障害キャリア支援ネットワーク」の円卓会議を開催

第1回	5月29日（日）13:40～15:30 参加者：13機関17名 今年度の就労支援事業とその実施体制に関する方針の確認 つくば発達障害就労支援ネットワーク（仮称）の名称の決定 就労支援事業とその実施体制を充実させるための方策の検討
第2回	10月1日（火）10:00～12:00 参加者：8機関12名 ネットワークとしての意思決定のあり方の検討 参画機関主催の困難事例検討会の内容・方法等の検討 参画機関主催の企業向け啓発事業の方向性の検討
第3回	1月28日（火）10:00～12:00 参加者：9機関11名 参画機関主催の訓練事業の進捗や経過などの共有 参画機関主催の啓発事業の内容や日程などの検討 ネットワークの円卓会議の参加者や開催日の検討

→モデル事業は終了しましたが、地域課題は解決したわけではありません。そこで、事業実施時の企画推進委員会メンバー16機関から有志が集い、新たに「つくば発達障害キャリア支援ネットワーク」を構成して、定期的に円卓会議を開催しています。ユニベルシタスつくばは、このネットワークの事務局機能を担っています。詳細は次ページをご覧ください。

## 【参考】「つくば発達障害キャリア支援ネットワーク」発足にあたって

2013年5月29日 ウニベルシタスつくば代表幹事 徳田太郎

### 【Why】

- －私たちは2012年度、茨城県の「新しい公共の場づくりのための提案型モデル事業」の一環として、「発達障害のある若年層への就労支援モデル事業」に取り組んできました。
- －この事業の目的は、「既存の福祉制度の狭間にあり、意欲はあっても無業状態で滞留している発達障害(疑い含む)の若者たちに向け、特性に合った職業訓練を実施することを軸に、就労に結びつける支援体制の確立と県民へのわかりやすい情報発信により、彼らを受け入れ、その特性を活かすことのできる、温かく活気ある地域社会の構築をめざす」というものでした。
- －この取り組みによって構築しつつあるモデルを、一過性のモデルで終わらせることなく、さらに継続・発展させていくための仕組みとして、「つくば発達障害キャリア支援ネットワーク」を発足することとしました。
- －そもそも「新しい公共」とは、行政だけでなく、また民間だけでもなく、マルチステークホルダーの連携・協働によって「公共」を担おうとするものです。
- －また「モデル事業」の要点は、「既存の福祉制度の狭間にある」、すなわち認定を受けていない、あるいは認定を受けていても適切なサービスが身近にない、発達障害(疑い含む)のある若年層を支援するところがありました。
- －つくば発達障害キャリア支援ネットワークでは、これらの原点を忘れることなく、「既存の福祉制度の狭間にある発達障害(疑い含む)のある若年層に対し、マルチステークホルダーの連携・協働により、就労支援を軸とした地域での支援体制を構築する」ことに取り組めます。

### 【What】

- －つくば発達障害キャリア支援ネットワークは、定期的な円卓会議の実施を通じて、上記の目的の達成を図ります。
- －まずは、2012年度のモデル事業として着手した取り組み、具体的には、有限会社友遊舎が実施主体となる訓練事業、ウニベルシタスつくばが実施主体となる啓発事業、そしてその他のネットワーク参画機関が実施主体となっていく関連事業を、より充実したものとしていくところから着手します。
- －上記は、モデル事業を引き継ぐ形で発足したことによるものであり、特定の事業所のみをバックアップすることを意味するものではありません。特に訓練事業に関しては、「制度内のサービス」について協議するのではなく、「認定を受けていない者に対する支援策」を協議することに主眼があります。
- －円卓会議は、「意思決定の場」ではなく、「参画機関が抱える課題の解決や新たな価値を創出するためのアイデアをともに探求・発見するための対話の場」です。
- －したがって参画機関は、円卓会議においては、自ら主体的にアジェンダを持ち込むこと、そしてそれぞれの情報・知識・経験を語ることで場に貢献することが求められます。
- －円卓会議は、定例会議として年3回(5月・9月・1月)の開催を想定していますが、参画機関からの呼びかけにより、いつでも臨時会議を開くことが可能です。

### 【How】

- －つくば発達障害キャリア支援ネットワークは、その名の通り「組織」ではなく「ネットワーク」であり、したがって各機関のスタンスは「所属」ではなく「参画」となります。
- －そのため、①特に規約を設けたり、役員を置いたりすることはしないこと、②ネットワークへの参画は、原則として「個人」ではなく「機関(団体・法人)」単位とすること、③参画・離脱とも各機関の任意であり、いずれも事務局への申請のみで可とすること、④モデル事業における企画・推進委員会構成機関(16機関)については、特に申請がない場合、ネットワークに参画しているものとみなし、円卓会議への参加を呼びかけること、⑤企画・推進委員会構成機関以外(たとえば医療機関、教育機関等)についても、積極的に参画を呼びかけていくことを基本方針とします。
- －つくば発達障害キャリア支援ネットワークの事務局機能は、ウニベルシタスつくばが担います。

以上

## D. その他特記事項

- ・つくば市民大学パンフレット、および要項「つくば市民大学へのおさそい」を改訂（4月）  
→開学以来初めてとなる、パンフレットの改訂を行いました。
- ・つくば市民大学の開館時間を変更（5月）  
→5月2日より、つくば市民大学の開館時間を以下の通り変更しました。  
（旧）毎週火・木曜日 10～18時（夜間講座がある場合は10～21時） 土・日曜日 10～18時  
（新）毎週火・木曜日 夜間講座の有無にかかわらず13～21時 土・日曜日 10～18時
- ・「ユニベルラジオ」の放送回数が150回を突破（5月）  
→2010年7月に開始した「ユニベルラジオ」。5月29日の放送で150回となりました。その後も毎週放送を続け、3月末には191回を迎えています。「今週の一冊」コーナーで紹介した本も180冊を超えました（つくば市民大学の「ユニベルライブラリー」で閲覧可能）。毎週火曜日19:30～20:00、ラヂオつくば（FM84.2MHz、ネットラジオ有）でお楽しみいただけます。
- ・長崎県大村市からの視察を受け入れ（5月）  
→5月30日、長崎県大村市・総務部男女いきいき推進課市民協働グループの2名がつくば市民大学を訪れました。その後大村市では、10月に「おおむら市民大学（アルビエルおおむら）」を開校。開校式には、つくば市民大学からもメッセージを寄せ、交流が続いています。
- ・季刊「ユニベルだより」の発行を開始（7月）  
→7月より、季刊「ユニベルだより」の発行を開始しました。
- ・インターンシップ・プログラムを開始（8月）  
→講座の企画・運営の実践を通じて、ソーシャルな活動の基礎となる力（5つの領域・8つの力）を育むプログラムです。8月11日からインターン生の募集を開始し、9月15日・10月6日には説明会も開催しました。10月から1名が、3月からさらに1名がインターン生として活躍しています。
- ・「つくば公園でお弁当」公式webサイト、Facebookページを開設（9月）  
→「人と人のかかわり、ゆるやかなつながりをつくり、育てること」を目的として、つくば市民大学が提唱する「つくば公園でお弁当」。9月に公式webサイトとFacebookページを開設し、10月から「つくば公園でお弁当」をスタートしました。呼びかけ人であるつくば市民大学は、毎週日曜日の12:00～12:45、中央公園・芝生広場で実施しています（厳冬期を除く）。
- ・雑誌「地方自治職員研修」2月号がつくば市民大学を紹介（1月）  
→「地方自治職員研修」2月号の巻頭特集「まちの学び場と職員の政策研究」に、ユニベルスタスつくば代表幹事・徳田太郎の「対話を重視し、地域課題を解決する～つくば市民大学の挑戦」が掲載されました。

2013年度 会計収支報告書  
2013年4月1日から2014年3月31日まで

ユニベルシタスつくば

科 目		金額 (単位:円)	
<b>I 経常収入の部</b>			
1 市民大学事業(協働パート)にかかる収入			
事業委託料	中央ろうきん社会貢献基金	3,030,000	
助成金	アイラブつくば助成金	0	3,030,000
2 市民大学事業(自主パート)にかかる収入			
個人会費	500円×179名	89,500	
団体会費	1,000円×22団体	22,000	
講座受講料	主催講座・公開講座	480,750	
運営協力費	自主講座・会場使用	153,000	
その他収入	講演謝金、書籍委託販売等	276,256	1,021,506
3 就労支援事業にかかる収入			
寄附金	コーヒーを通じた寄附	54,587	54,587
経常収入合計			4,106,093
<b>II 経常支出の部</b>			
1 市民大学事業(協働パート)にかかる支出			
講師謝金	源泉税込	460,000	
講師交通費	乗車券・駐車券代	9,760	
講座コーディネート費	源泉税込	750,000	
スタッフ人件費	受付スタッフ日当	1,413,200	
広報費	広告宣伝費	88,498	
事務消耗品費	事務用品・消耗品費	109,410	
通信費	郵便代・宅配便代	102,840	
5周年記念誌制作費		0	
什器備品費	円卓等	62,240	
外部委託料	サーバ・ドメイン維持管理費等	83,950	3,079,898
2 市民大学事業(自主パート)にかかる支出			
運営コーディネート費		0	
交通宿泊費	会議交通費	63,620	
会議費	運営委・幹事会日当(9回)	96,000	
その他支出	講演派遣、書籍仕入、講座茶菓等	308,631	
支払手数料	振込手数料	7,065	475,316
3 就労支援事業にかかる支出			
交通宿泊費	会議交通費	13,800	
会議費	円卓会議(3回)	40,000	
通信費	リーフレット送付等	0	
その他支出	寄附用コーヒー仕入	3,696	57,496
経常支出合計			3,612,710
経常収支差額			493,383
<b>III その他資金収入の部</b>			
受取利息		306	
その他資金収入合計			306
<b>IV その他資金支出の部</b>			
雑損失	現金過不足	66	
その他資金支出合計			66
当期収支差額			493,623
前期繰越収支差額			1,070,233
次期繰越収支差額			1,563,856

(参考)2013年度 会計収支予実等対比  
2013年4月1日から2014年3月31日まで

ユニベルシタスつくば

科 目	12年度実績	13年度予算	13年度実績	前年比	予算比
<b>I 経常収入の部</b>					
1 市民大学事業(協働パート)にかかる収入					
事業委託料 中央ろうきん社会貢献基金	3,000,000	3,000,000	3,030,000	101%	101%
助成金 アイラブつくば助成金	0	75,000	0	-	0%
2 市民大学事業(自主パート)にかかる収入					
個人会費 500円×160名	73,000	80,000	89,500	123%	112%
団体会費 1,000円×25団体	24,000	25,000	22,000	92%	88%
講座受講料 主催講座・公開講座	312,700	320,000	480,750	154%	150%
運営協力費 自主講座・会場使用	157,000	160,000	153,000	97%	96%
その他収入 講演謝金、書籍委託販売等	207,060	200,000	276,256	133%	138%
3 就労支援事業にかかる収入					
寄附金 コーヒーを通じた寄附	5,800	100,000	54,587	941%	55%
<b>経常収入合計</b>	<b>3,779,560</b>	<b>3,960,000</b>	<b>4,106,093</b>	<b>109%</b>	<b>104%</b>
<b>II 経常支出の部</b>					
1 市民大学事業(協働パート)にかかる支出					
講師謝金 源泉税込	505,000	450,000	460,000	91%	102%
講師交通費 乗車券・駐車券代	9,740	9,000	9,760	100%	108%
講座コーディネイト費 源泉税込	700,000	750,000	750,000	107%	100%
スタッフ人件費 受付スタッフ日当	1,555,500	1,414,400	1,413,200	91%	100%
広報費 広告宣伝費	68,000	90,000	88,498	130%	98%
事務消耗品費 事務用品・消耗品費	37,522	60,000	109,410	292%	182%
通信費 郵便代・宅配便代	78,140	90,000	102,840	132%	114%
5周年記念誌制作費	0	150,000	0	-	0%
什器備品費 円卓等	0	38,000	62,240	-	164%
外部委託料 サーバ・ドメイン維持管理費等	183,700	23,600	83,950	46%	356%
2 市民大学事業(自主パート)にかかる支出					
運営コーディネイト費	0	0	0	-	-
交通宿泊費 会議交通費	10,850	32,200	63,620	586%	198%
会議費 運営委・幹事会日当(7回)	43,500	63,000	96,000	221%	152%
その他支出 講演派遣、書籍仕入、講座茶菓等	205,549	200,000	308,631	150%	154%
支払手数料 振込手数料	6,590	6,800	7,065	107%	104%
3 就労支援事業にかかる支出					
交通宿泊費 会議交通費	15,350	40,000	13,800	90%	35%
会議費 円卓会議(3回)	0	36,000	40,000	-	111%
通信費 リーフレット送付等	0	16,000	0	-	0%
その他支出 寄附用コーヒー仕入	3,882	8,000	3,696	95%	46%
<b>経常支出合計</b>	<b>3,423,323</b>	<b>3,477,000</b>	<b>3,612,710</b>	<b>106%</b>	<b>104%</b>
<b>経常収支差額</b>	<b>356,237</b>	<b>483,000</b>	<b>493,383</b>	<b>138%</b>	<b>102%</b>
<b>III その他資金収入の部</b>					
受取利息	274	0	306	112%	-
<b>その他資金収入合計</b>	<b>274</b>	<b>0</b>	<b>306</b>	<b>112%</b>	<b>-</b>
<b>IV その他資金支出の部</b>					
事業委託料戻戻等	197,702	0	66	-	-
<b>その他資金支出合計</b>	<b>197,702</b>	<b>0</b>	<b>66</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
<b>当期収支差額</b>	<b>158,809</b>	<b>483,000</b>	<b>493,623</b>	<b>311%</b>	<b>102%</b>
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>911,424</b>	<b>1,070,233</b>	<b>1,070,233</b>	<b>117%</b>	<b>100%</b>
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>1,070,233</b>	<b>1,553,233</b>	<b>1,563,856</b>	<b>146%</b>	<b>101%</b>

2013年度 会計貸借対照表  
2014年3月31日現在

ユニベルシタスつくば

科目・摘要		金額 (単位:円)		
<b>I 資産の部</b>				
1 流動資産				
現金		4,013		
普通預金	中央労働金庫つくば支店	1,689,139		
前払費用		0		
未収入金		0		
	流動資産合計		1,693,152	
2 固定資産				
	固定資産合計	0		
	減価償却累計額	0	0	
	資産合計			1,693,152
<b>II 負債の部</b>				
1 流動負債				
未払金		0		
前受金	2014年度年会費	40,500		
預り金	源泉徴収税預り金	38,796		
	流動負債合計		79,296	
2 固定負債				
	固定負債合計		0	
	負債合計			79,296
<b>III 正味財産の部</b>				
元入金			50,000	
前期繰越正味財産			1,070,233	
当期正味財産増加額			493,623	
	正味財産合計			1,613,856
	負債及び正味財産合計			1,693,152

2013年度の事業報告書ならびに収支報告書を作成提出いたします。

2014年4月22日

ユニベルシタスつくば 代表幹事 徳田 太郎 印

---

### 監査報告書

ユニベルシタスつくば 代表幹事 徳田太郎 殿

ユニベルシタスつくばにおける、2013年4月1日から2014年3月31日までの会計および会務の執行状況を監査いたしました。

監査の結果、本会の財務諸表は2013年度の収支および年度末における財政状況を適正に示しており、会務の執行は適正妥当であることを認めます。

2014年4月22日

ユニベルシタスつくば 監事 横田 能洋 印

## <第2号議案> 2014年度事業計画および収支予算の決定を求める件

### 2014年度事業計画書

2014年4月1日から2015年3月31日まで

ユニベルシタスつくば

つくば市民大学では、2012年度より、以下の4つの「学科制」を導入することで、カラーを明確化しつつあります。

#### サステナビリティ学科：

身近な環境やエネルギーに関する講座などを通じて、未来の世代も安心して暮らせる持続可能な地球を考えます。

#### ダイバーシティ学科：

お互いの違いを知り、共生できる社会の可能性を探る講座などを通じて、多様性に満ちた豊かな社会を考えます。

#### コミュニティ学科：

ボランティアや市民活動、コミュニティづくりに必要な技術の講座などを通じて、地域や社会のあり方を考えます。

#### ライフスタイル学科：

各世代の暮らし方、働き方を考える講座やゆるやかな交流の場などを通じて、自分らしい人生のあり方を考えます。

今年度からは、特に主催講座において、学科を横断する形で、以下の2つのテーマを意識した取り組みを積極的に行うこととします。

### テーマ1. 《社会的包摂》

様々な問題が連鎖し、複合的に重なりあうことで、あらゆる関係性から切り離され、社会とのつながりが極めて希薄になってしまう状態を「社会的排除」といい、その構造と要因を克服することで、一人ひとりが「居場所と出番」を持って社会に参加し、それぞれの持つ潜在的な能力をできる限り発揮できる環境を整備することを「社会的包摂」といいます。

つくば市民大学では、これまでの取り組みで蓄積した知見とネットワークを活かし、特に「高齢者のケア」、「子どもの貧困」、「障害者の就労」の3つを今後5年間の重点課題として取り上げ、調査・研究、講座の企画、活動や提言などを実施していきます。

また、つくばの地域資源である豊富な公園を活用しつつ、地域課題を自律分散的に解決できるインフラである「社会関係資本」を育む取り組みとして、昨年度からの「つくば公園でお弁当」を継続・発展させるとともに、「フューチャーセッション・『わたしたちの公園』をつくる！」で得られたアイデアの実現にも尽力します。

### テーマ2. 《持続可能性》

「持続可能性」というと、一般には「自然環境」に関する事柄だけがクローズアップされることが多いのですが、実際には「環境」「社会」「経済」という3つの側面から、「将来の世代の豊かさや幸せを損なうことなく、現代の世代が豊かさや幸せのうちに暮らせる社会を構想すること」が、持続可能性の要



諦となります。

たとえば、昨年度の学園祭において私たちが注目した、千葉県柏市の市民有志による原発事故・放射能汚染後の地産地消・食の安全を構想する「安全・安心の柏産柏消」円卓会議の取り組みなどは、まさに環境・社会・経済のすべての領域の接点にある問題に取り組む試みであるといえます。

つくば市民大学でも、真に「まなぶ・つながる・つくりだす」を実現するためのヒントとして、各講座の企画において、「環境×社会」「社会×経済」「経済×環境」などの視点を導入し、学科の枠を超えた新たな企画の実現を試みます。また、「いばらき子ども大学」の実行委員会の一翼を担い、次代を担う世代とともに持続可能性を考える企画を実施します。

もちろん、これまで通り、会員の皆さまからの自由な発想に基づく講座企画も、積極的に実現していきます。「市民一人ひとりが互いの多様性を認めあい、一人でも多くの人々が幸せに生きられる社会」の実現に向けて、ともに歩んでいきましょう。

#### A. 講座・イベント等

- ・主催講座を計 24 講座（各学期 8 講座）企画・開講します（通年）。企画・開講にあたっては、「社会的包摂」「持続可能性」という 2 つのテーマを十分に意識します。
- ・公開講座を計 6 講座（各学期 2 講座）企画・開講します（通年）。
- ・共催講座を計 18 講座（各学期 6 講座）企画・開講します（通年）。
- ・引き続き、自主講座の企画・開講をサポートします（通年）。
- ・年度末の学園祭を、会員による実行委員会にて企画・実施します（1 月～3 月）。

#### B. 企画・運営のための会務

- ・通常総会を 1 回開催します（6 月）。
- ・運営委員会を 3 回開催します（7 月・11 月・3 月）。
- ・幹事会を 3 回開催します（4 月・9 月・1 月）。

#### C. 就労支援事業

- ・引き続き、つくば発達障害キャリア支援ネットワークの事務局を担います（通年）。
- ・啓発事業として、セミナーを 1 回開催します（7 月）。
- ・円卓会議を 3 回開催します（5 月・9 月・1 月）。

#### D. その他の事業

- ・5 周年記念誌「つくば市民大学レビュー」を制作・発行します（6 月）。
- ・小冊子「参加・体験型講座づくり虎の巻」（仮称）を制作・発行します（6 月）。
- ・引き続き、「インターンシップ・プログラム」を実施します（通年）。
- ・「つくば公園でお弁当」の継続・発展を図ります（通年）。
- ・つくば市の「アドプト・ア・パーク制度」に参加し、団体登録します（4 月）。
- ・茨城県の「いばらき子ども大学」の取り組みに参加し、実行委員会の一翼を担います（4 月）。

2014年度 会計収支予算書  
2014年4月1日から2015年3月31日まで

ユニベルシタスつくば

科 目		金額 (単位:円)	
<b>I 経常収入の部</b>			
1 市民大学事業(協働パート)にかかる収入			
事業委託料	中央ろうきん社会貢献基金	3,000,000	
助成金	アイラブつくば助成金	0	3,000,000
2 市民大学事業(自主パート)にかかる収入			
個人会費	500円×160名	80,000	
団体会費	1,000円×25団体	25,000	
講座受講料	主催講座・公開講座	400,000	
運営協力費	自主講座・会場使用	160,000	
ブックレット売上	500円×200冊(寄附金分含む)	100,000	
その他収入	講演謝金、書籍委託販売等	235,000	1,000,000
3 就労支援事業にかかる収入			
寄附金	コーヒーを通じた寄附	50,000	50,000
経常収入合計			4,050,000
<b>II 経常支出の部</b>			
1 市民大学事業(協働パート)にかかる支出			
講師謝金	源泉税込	450,000	
講師交通費	乗車券・駐車券代	9,000	
講座コーディネート費	源泉税込	750,000	
スタッフ人件費	受付スタッフ日当	1,382,400	
広報費	広告宣伝費	90,000	
事務消耗品費	事務用品・消耗品費	30,000	
通信費	郵便代・宅配便代	120,000	
5周年記念誌制作費	1,000部	145,000	
什器備品費		0	
外部委託料	サーバドメイン維持管理費等	23,600	3,000,000
2 市民大学事業(自主パート)にかかる支出			
運営コーディネート費		0	
交通宿泊費	会議交通費	58,000	
会議費	運営委・幹事会日当(9回)	90,000	
ブックレット制作費	500冊	100,000	
寄附金	50円×200冊、いばらき未来基金	10,000	
その他支出	講演派遣、書籍仕入、講座茶菓等	235,000	
支払手数料	振込手数料	7,000	500,000
3 就労支援事業にかかる支出			
講師謝金	源泉税込	60,000	
事業コーディネート費	源泉税込	25,000	
交通宿泊費	イベント駐車券等	40,000	
会議費	円卓会議(3回)	36,000	
通信費	イベント案内送付等	20,000	
外注費	DM発送作業等	15,000	
その他支出	寄附用コーヒー仕入	4,000	200,000
経常支出合計			3,700,000
経常収支差額			350,000
<b>III その他資金収入の部</b>			
受取利息		0	
その他資金収入合計			0
<b>IV その他資金支出の部</b>			
事業委託料返戻	過年度分	0	
その他資金支出合計			0
当期収支差額			350,000
前期繰越収支差額			1,563,856
次期繰越収支差額			1,913,856